

令和元年度市川市下水道事業審議会

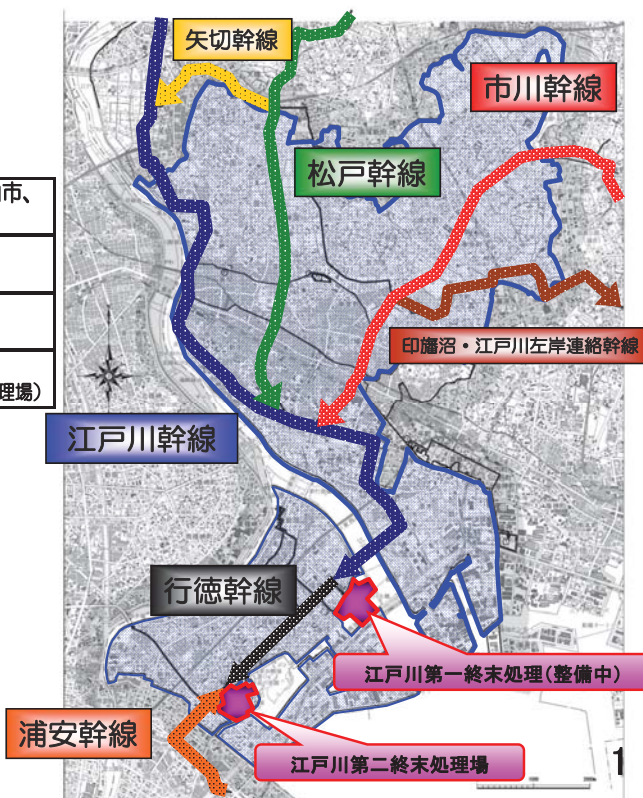
下水道事業(汚水・雨水)の 現状と今後の整備

水と緑の部
河川・下水道建設課

千葉県の流れ下水道

[江戸川左岸流域下水道]

関連市町村	市川市、松戸市、流山市、野田市、柏市、鎌ヶ谷市、船橋市、浦安市
計画処理面積	20,417ha
計画処理人口	1,421,100人
終末処理場	2箇所 (江戸川第一終末処理場、江戸川第二終末処理場)



市川市の公共下水道

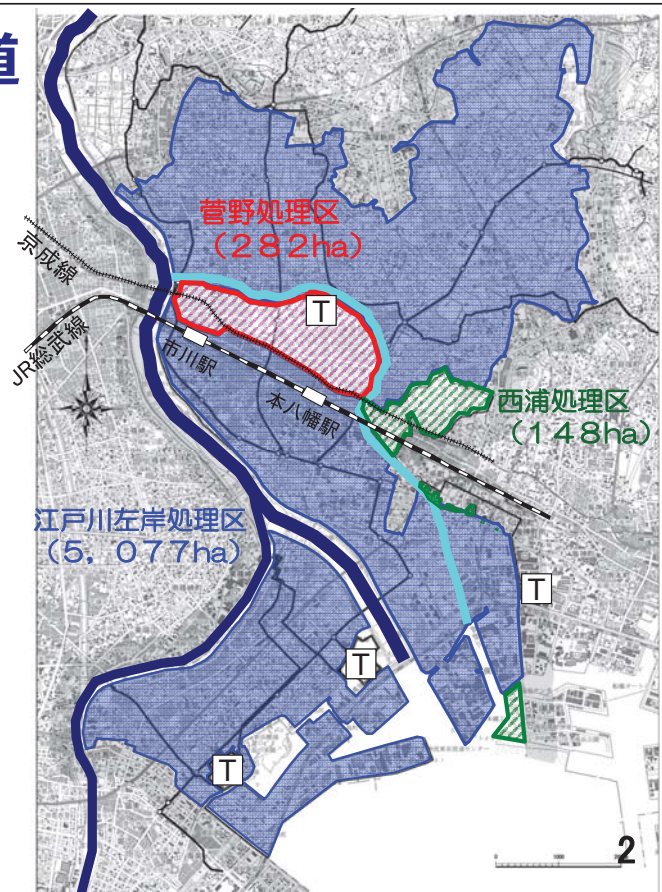
【汚水事業】

[整備状況 (平成30年度末時点)]

処理区名	事業計画面積 (ha)	整備面積 (ha)
菅野	282	282
江戸川左岸	2,502	1,916
西浦	126	96
合計	2,910	2,294

[普及率 (平成30年度末時点)]

整備面積	2,294ha
処理人口	362,000人
普及率	74.1%



下水道 (汚水) の整備状況

平成30年度末
下水道普及率

市川市: 74.1%

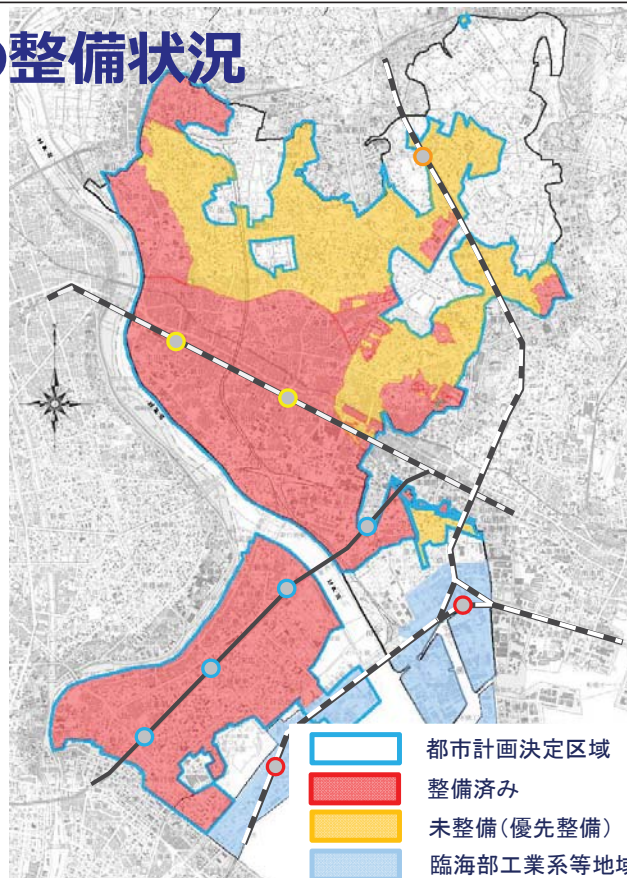
(参考)

松戸市: 85.9%

船橋市: 87.3%

浦安市: 99.6%

千葉県: 74.8%



下水道整備の目標

国：下水道による汚水処理の10年概成を目指す
(令和8年度末を目途に汚水処理施設を概成)

市：汚水適正処理構想
(H28.3)
(施設整備を効率的
かつ適正・確実に
進めるための方針)

内 容	事業期間
(第一優先整備) 臨海部の工業系用途 等を除く市街化区域	令和11年度 まで
(第二優先整備) 臨海部の工業系用途 等・市街化調整区域	令和12年度 以降

- ▶ 令和11年度末の下水道普及率 約97%(現況:74.1%)
- ▶ 令和11年度までに残り約1,100haの整備

4

目標達成に向けた対策

[対策]

- デザインビルド方式(官民連携事業)による設計・施工一括発注制度の活用
- 外部委託の活用(下水道公社等)

5

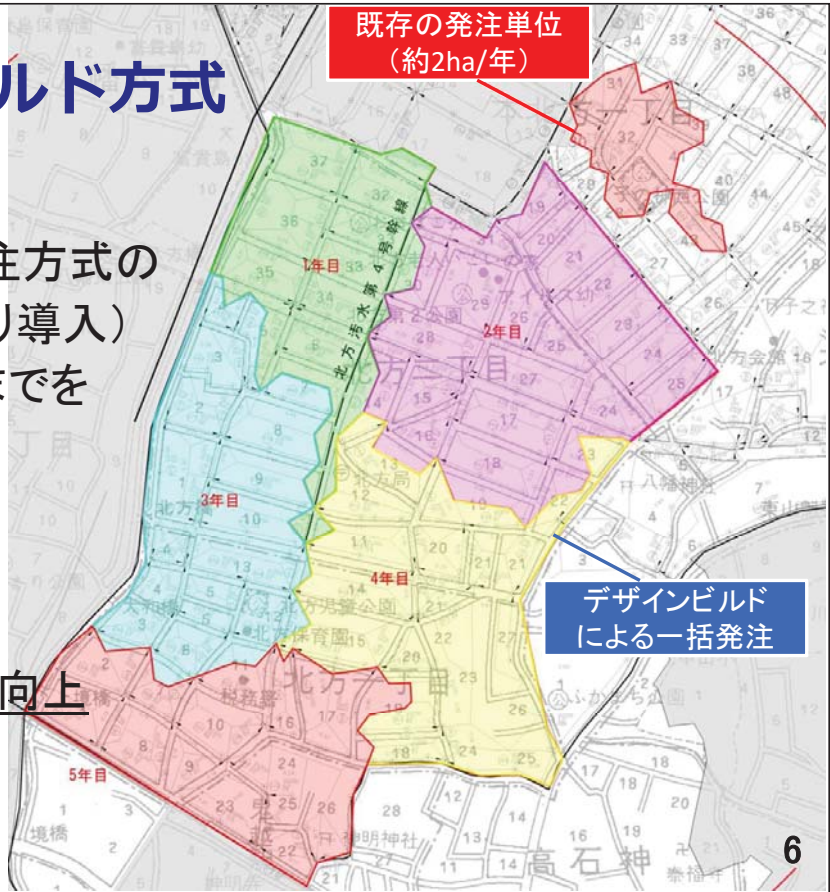
デザインビルド方式

[制度概要]

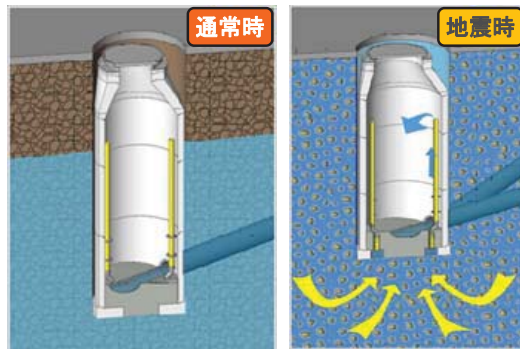
- ▶ 公共工事の発注方式の一つ(H29年より導入)
- ▶ 設計から施工までを一括で発注

[効果]

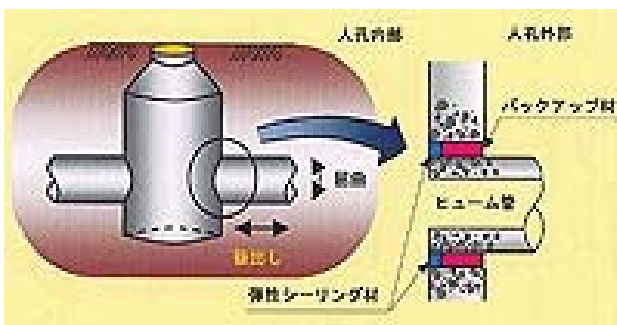
- ▶ 事業の効率化
- ▶ 整備スピードの向上
- ▶ 工事の平準化
- ▶ 交付金の確保



地震対策事業



[地震によるマンホール浮上防止]



[継ぎ手部の可とう化]



[マンホールトイレの設置] 7

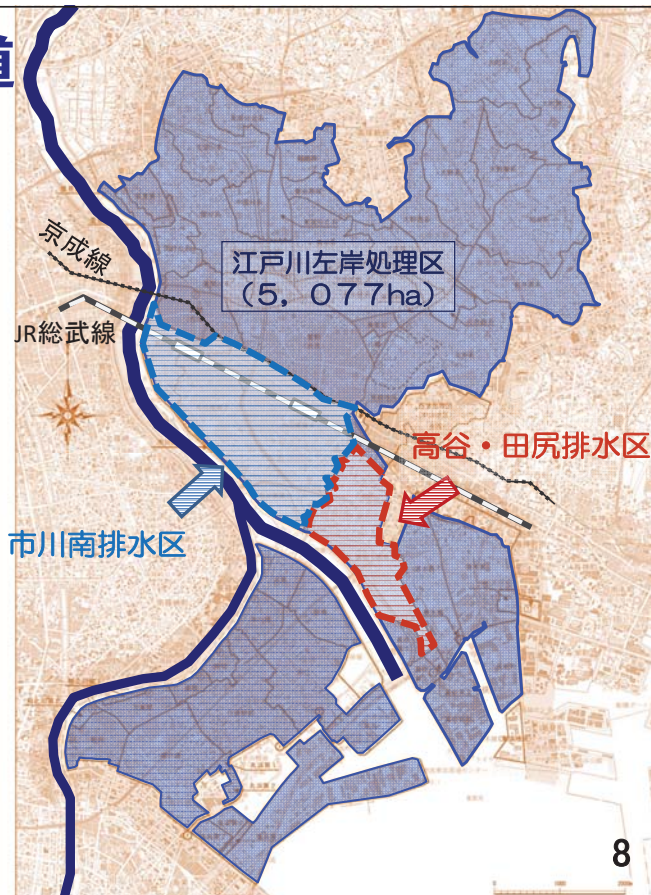
市川市の公共下水道

【雨水事業】

整備優先区域を定め整備中
(市川南、高谷・田尻地区)

【主な事業内容】

- ▶ ポンプ場の新設
- ▶ 幹線管渠整備 等



市川南地区の排水計画



【見直し内容】

- ▶ 排水システムを1系統→3系統へ(2ポンプ場を新設)
- ▶ 地区内の排水能力が23m³/秒→60m³/秒へ

市川南ポンプ場建設事業



高谷・田尻地区の排水計画



**今後も効果的な汚水・雨水整備を
進めてまいります。**